

・・・日吉台西中学校4名の生徒が区役所の仕事を体験しました。・・・

例年より雨の日が多かった9月の中でお天気が良かった29日(木)に、日吉台西中学校の2年生4名が区役所子ども家庭支援課の仕事体験を行いました。



この日は、一歳6か月健診があったのでその様子を見学をしました。健診担当者の手際の良い対応にびっくりした様子でした。見学の後、庁内各課の仕事内容の説明を受けました。



10時からは、「子ども・家庭支援相談について、区民の皆様へ周知する方法や活用していただくにはどのような手立てが考えられるか。」という事についての会議を模擬的に行いました。最初は戸惑っていましたが、一人一人が真剣に考え意見をまとめ、発表する手法は、アクティブラーニングそのものだったと思います。



午後は、綱島の「どろっぷサテライト」に行きました。どろっぷサテライトは「横浜市内在住の0歳～未就学児とその保護者および妊婦とその家族、子育て支援に関わる地域の方」が利用できる場所です。小さい子どもたちやお母さん方とわずかな時間でしたが、ふれあうことで貴重な体験をすることができました。



## 《こども家庭支援課の業務を体験してみようでしたか?》

体験された生徒さんに感想を原文のままのせてあります。

### 日吉台西中学校 2年 井上 仁

今日は、職業体験で区役所に行きました。区役所の中を案内してもらったり、自分たちで会議をしたり、日常ではあまりできない貴重な体験ができました。

午前中は、区役所で様々なことをしました。1階から4階まで、色々な課を見学しました。来客に合わせて、課の場所を配置していると知り、工夫がされているのだなと感じ、凄いと思いました。午後は、どろっぷサテライトという施設に来ました。赤ちゃんから三歳児まで、たくさんの子どもとふれ合い、遊ぶことができました。今日の職業体験では、たくさんの事を知り、学ぶことができました。この機会を作ってくださった、区役所の方、施設の方、先生方に感謝したいと思います。

### 日吉台西中学校 2年 天野 秀哉

僕は職業体験をしました。最初は港北区役所に行きました。初め緊張で筆記用具を忘れそうになったりしてハプニングの連続でしたが、昼ご飯を食べる10分前ぐらいになるとおちついて、昼ご飯を食べたら緊張がなくなりました。ですがその後、「どろっぷ」という赤ちゃんとおふれあうところに行くことになって、今度は不安に襲われました。理由は、小さい子が嫌いだからです。そして赤ちゃんとおふれあえない僕はどうすればいいのかわからないまま終わりました。だから今度はもっと赤ちゃんに話しかけまくりたいと思っています。

### 日吉台西中学校 2年 大島 泰聖

今日は、自分にとって初めての職業体験で区役所に行きました。最初はものすごく緊張しました。でも、やっていくうちに慣れてきて楽しく体験することができました。区役所の仕事の内容は、全然知らなかったけれど今日の体験で良くわかりました。ほとんどの方がパソコンで集中して仕事をしていて、かっこいいと思いました。区役所は、僕たちの生活を支えてくれているのだと思いました。

午後は、「どろっぷ」という小さい子どもたちとおふれあう場に行きました。自分は小さな子どもと遊んだり、関わったりすることがほとんどなかったので、ここでも最初は緊張しました。小さい子どもたちと遊んだり、かき氷をつくったりして最終的にはいい思い出でした。とても素晴らしい体験のできた一日でした。

### 日吉台西中学校 2年 阿久津 栞里

今回の職業体験で、私は働いている人たちはたくさんのことを考えているという事を知りました。

港北区役所では、同じ施設内でも1階から4階まで全く違う内容の仕事をしていることに気が付きました。そして課の配置にはさまざまな配慮があることを知りました。だんだん上の階に上がるごとに利用者が減っていきました。そうした配慮によって私たち区民が利用しやすくなっているんだと知り驚きました。

「どろっぷサテライト」では、普段なかなか体験できない0～2歳児とのふれあいが楽しめました。親子で利用でき、同じ母親同士で話すことができるすてきな施設だなと思いました。

今回の経験を生かし、これから決めていく自分の進路に役立てたいと思います。